

日本古代中世史研究

選択 2単位

宮川 麻紀

1. 授業の概要(ねらい)

日本古代史の様々な論文を読み、どのような分野・テーマの研究でどのような説が出されているのかを理解する。
また、論文を書くうえで必要な、史料の根拠に基づいた論理展開の方法や、先行研究の批判的読解の方法も学ぶ。

2. 授業の到達目標

- ①日本古代史のテーマや論点を理解する。
- ②史料に基づいて、自身の論を組み立てられる。
- ③先行研究を批判的に読解する事ができる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1)授業での発表と討論への参加 40%
- (2)学期末レポート 60%

4. 教科書・参考文献

参考文献

小笠原好彦・吉村武彦 『展望日本歴史』4 大和王権 東京堂出版
小笠原好彦・吉村武彦 『展望日本歴史』5 飛鳥の朝廷 東京堂出版
小笠原好彦・吉村武彦 『展望日本歴史』6 律令国家 東京堂出版

5. 準備学修の内容

発表者以外の参加者も、あらかじめ論文を読んでおくこと。復習として、論文や発表レジュメを再度読むこと。

6. その他履修上の注意事項

古代史の様々なテーマに関心を持ち、関連する書籍を読むこと。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | オリエンテーション
・授業の進め方の説明
・発表者と担当論文の決定 |
| 【第2回】 | 論文の読解と討論
・全員で一つの論文を読み、構造や論理展開を理解する。
・論拠とされている史料の妥当性や、論理展開の是非を討論する。 |
| 【第3回】 | 発表と討論①
・発表者が論文一点を紹介し、論拠とされている史料の妥当性や、論理展開の是非を全員で討論する。 |
| 【第4回】 | 発表と討論②
・発表者が論文一点を紹介し、論拠とされている史料の妥当性や、論理展開の是非を全員で討論する。 |
| 【第5回】 | 発表と討論③
・発表者が論文一点を紹介し、論拠とされている史料の妥当性や、論理展開の是非を全員で討論する。 |
| 【第6回】 | 発表と討論④
・発表者が論文一点を紹介し、論拠とされている史料の妥当性や、論理展開の是非を全員で討論する。 |
| 【第7回】 | 発表と討論⑤
・発表者が論文一点を紹介し、論拠とされている史料の妥当性や、論理展開の是非を全員で討論する。 |
| 【第8回】 | 発表と討論⑥
・発表者が論文一点を紹介し、論拠とされている史料の妥当性や、論理展開の是非を全員で討論する。 |
| 【第9回】 | 発表と討論⑦
・発表者が論文一点を紹介し、論拠とされている史料の妥当性や、論理展開の是非を全員で討論する。 |
| 【第10回】 | 発表と討論⑧
・発表者が論文一点を紹介し、論拠とされている史料の妥当性や、論理展開の是非を全員で討論する。 |
| 【第11回】 | 発表と討論⑨
・発表者が論文一点を紹介し、論拠とされている史料の妥当性や、論理展開の是非を全員で討論する。 |
| 【第12回】 | 発表と討論⑩
・発表者が論文一点を紹介し、論拠とされている史料の妥当性や、論理展開の是非を全員で討論する。 |
| 【第13回】 | 発表と討論⑪
・発表者が論文一点を紹介し、論拠とされている史料の妥当性や、論理展開の是非を全員で討論する。 |
| 【第14回】 | 発表と討論⑫
・発表者が論文一点を紹介し、論拠とされている史料の妥当性や、論理展開の是非を全員で討論する。 |
| 【第15回】 | 発表と討論⑬
・発表者が論文一点を紹介し、論拠とされている史料の妥当性や、論理展開の是非を全員で討論する。 |